



リウマチ外来はじまります!

関節リウマチは全身の関節炎を主症状とする炎症性疾患です。自己免疫疾患のひとつと考えられていますが、その原因はまだよくわかっていません。関節リウマチの診断は、朝のこわばりや四肢の関節痛、関節腫脹など特徴的な症状、各種検査結果（リウマチ因子など）によって行いますが、とくに早期の場合はまだ症状がはっきりせず、診断が困難であることがしばしばです。

関節リウマチは一旦発症すると、よくなったり悪くなったりを繰り返しながら徐々に関節の変形が進んでいきます。関節が一度変形すると、元に戻せないばかりか、機能障害が生じ、手術が必要になることがあります。また関節リウマチによる炎症はときに関節外でも生じ、間質性肺炎などを併発することがあります。間質性肺炎は治療薬のメトトレキサートの副作用で起きることもあります。さらに関節リウマチでは、炎症を起こしている関節周りの骨や、背骨など全身の骨密度が減少すること（二次性骨粗鬆症）が多く、また治療薬の一種であるステロイドの内服により骨密度が低下します。したがって、骨粗鬆症の進行に対する治療も重要です。

近年関節リウマチの治療は飛躍的に進歩しています。関節炎の鎮静化だけでなく、引き続き生じる関節破壊の予防が期待できるようになりました。

最新治療の導入をふまえ、以前より当科におきましてもリウマチ科を標榜しておりましたが、新規にリウマチ専門外来を開設する運びとなりました。

関節リウマチでお困りの多くの患者様に来院いただければと考えております。

リウマチ外来 第2・4土曜日 13:00～15:00(予約制)

《担当医 坪井 秀規先生(日本整形外科学会専門医・日本リウマチ学会専門医)》



薬の飲み方、間違っていないか



去る3月10日、介護老人保健施設ケアヴィラ伊丹コミュニティホールにて、伊丹大野診療所 健康講座を開催しました!

テーマ: ~薬の飲み方について~

宝塚第一病院共催



正しく薬を飲まないと、目的の治療効果がなかなか得られないこと、ご存知ですか?

今回は、薬の飲み方や保管の方法についてお話ししました。

【講師: ケアヴィラ伊丹 薬剤師 佐藤菊子】

この講座の内容についてご興味のある方は、

介護老人保健施設ケアヴィラ伊丹の

ホームページ <http://www.carevilla.com/itami/top.html> に公開

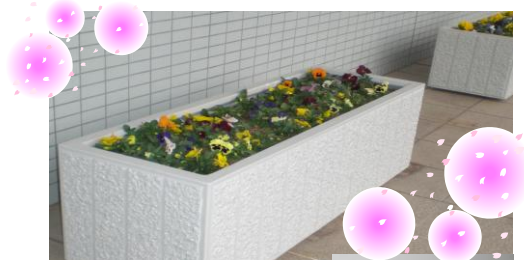
していますので、是非ご覧下さい。



季節のお花でごあいさつ

玄関前…

今月は『パンジー』花言葉は『心の平和』



各階段にも・・・

3月3日はももの花と

カーネーションのコラボ





宝塚第一病院 放射線科を紹介します



皆様！放射線科は機械が多くてわかりにくい感じがすると思われてませんか？と言う事で今回は 2 種類の機器の簡単な説明をさせていただきます。

* 乳房撮影装置 (マンモ健診)

乳腺、乳房の専用の装置です。乳房を圧迫して病変を撮影しないとイケないので、痛みを伴うこともあります。病気を見つける上でとても大切な事です。生理前はホルモンの関係で乳房が張って痛むので、出来ればマンモグラフィ検査は生理が始まってから 2~3 日以降に受けられるといいでしょう。

* 骨密度測定装置

骨の健康を知る目安になる装置です。比較的短時間で検査出来ますので興味のある方は整形外科にお問い合わせください。

放射線科ではこれらの機器を管理し、患者さんに優しく、医療の情報を的確に医師に提供できるよう、チーム医療を実践し、患者サービス向上がなされるように努力しております。患者さんお一人お一人が一日も早くお元気になられますよう放射線科スタッフ一同努力してまいります。

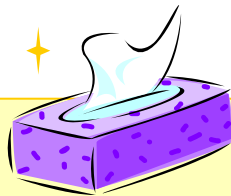


乳房撮影装置



骨密度測定装置

特集！花粉症



花粉症…国民病、現代病？

* 国民病 *

国民の 30% 近くが花粉症との報告があり、今後さらに増加することが予想されます。

* 現代病 *

1. かつて木材需要のため大量の木が伐採され、跡地に植樹されたスギが成長して大量に花粉をまき散らしている
2. 戦後、衛生状態がよくなり、体の免疫系が外敵に対する防御からアレルギーをおこしやすい方向にシフトしてきた
3. ディーゼル排気ガスなど大気汚染がアレルギー反応を増強させる
4. ストレスの多い社会になってきた

☆スギ花粉以外にヒノキ、ブタクサなど多くの花粉が原因となる花粉症もあります。1年4分の3は何らかの花粉が飛散しているのです！

☆花粉症のさらに詳しい情報や対処方法などは、厚生労働省のホームページを覗いてみてください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/kenkou/ryumachi/kafun.html>

副院長 森本医師 (内科)



ご自分に合ったお薬だと、すっきりしますよ！
お困りの方はアレルギー科の受診をお勧めします。
アレルギー科 森 医師

コラム THE JIMUCHO Vol. 1

スギ花粉の飛散が本格的となり、花粉症の人には辛い季節となってきました。私自身、「花粉症」という言葉がまだ一般的でない 30 年近く前から悩まされてきました。

しかし、ここ数年は薬を飲まなくても過ごせるようになってきました。歳を取ってきたせいでしょうか？

今年の飛散量は昨年より 2 倍以上と予想されており、外出時にはマスクをするなど対策は取りたいと思います。

事務長 丸山